

---

# 東方 OF THE END

自由獅子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方 OF THE END

### 【Nコード】

N3838BA

### 【作者名】

自由獅子

### 【あらすじ】

幻想郷にゾンビが出現。幻想郷の未来は希望か終末か。

## 第0話「終末の序曲」

ある村の廃屋。

そこはチンピラなどのたまり場となっていた。あまり人が来ないためチンピラにとってはいい場所だった。

今日も集まってわいわい騒いでいた。

その廃屋に突然『それ』は入ってきた。『それ』はフードをかけていて顔はわからない。

「誰だテメエ？」

とチンピラの1人が近づいた。

すると『それ』は顔を上げた。

「てめえ確か…」

とチンピラが言った時、『それ』はチンピラの首に尖った歯で噛みついた。

「ギヤアアアアー……!?!」

「てめえ何しやがる!?!」

別のチンピラがナイフを取り出し、『それ』の腹部に突き刺したが、『それ』は意に關しておらず、突き刺したチンピラにも噛みついた。

チンピラ達は逃げようとしたが、『それ』の速さに逃げ切れず、同じように噛まれた。

廃屋はあっという間に血だらけの地獄絵図に変わった。

『それ』は何事もなかったように去っていった。

チンピラ達は瀕死にも関わらず笑顔で、

「気持ち…いい…」

と言い、死んだ。

しかし、死んだはずのチンピラ達は起き上がった。

が、肌は灰色、歯は尖り、目は赤かった。

幻想郷にゾンビが誕生した瞬間だった。

## 第1話「勃発」

霧雨魔理沙はイライラしていた。いつも通り紅魔館の大図書館から本を『借り』に行くつもりだったが………飛べないのだ。ほうきがうんともすんともいわなかった。原因はわからずどうしようもなかった。歩くのも面倒なので自宅でごろごろしていたが、落ち着かない。魔理沙は暇つぶしに古道具屋『香りん堂』に行くことにした。

森近りん之助は困っていた。

朝目が覚めて外に出ると店の前に大量の銃火器が置いてあった。幻想郷には銃火器はないのだが、森近は幻想入りした銃を見たことがある。森近の『道具の名称と用途が判る程度の能力』で調べ、用途を知り恐れた。

…これは人を殺めるためのものだ。

森近は河童の河城にとりに頼んで銃を解体してもらった。さすがに外の物に興味があるにとりも用途を知りこころよく承した。

その銃が今日の前にあるのだ。しかも種類も数も多い。人目につく前に隠そうとしたが…

「よう香りん」

…運悪く魔理沙が来店してしまった。

「い、いらっしやい」

「ん？なんだそれ？」

森近は銃を隠そうとしたがすぐに隠せるわけもなく、魔理沙に見つかってしまふ。

「た、大したものじゃないよ」

「ごまかし方が下手だな。声が震えてるぜ？」

「はあ…それはね…」

森近は仕方なく説明した。

「ふうん危ねえなこれ」

と言いつつ魔理沙は指で銃を回す。

「ちよっ！危ないって！」

「大丈夫だぜ。私が簡単に悪事に手を出すと思ってるのか？」

「うん」

「ひどいぜ…」

森近は即答だったので魔理沙は少し傷ついた。

「まあ、一丁もらっぜ」

「それで撃たないでよ…」

「飾るだけ飾るだけ」

森近は魔理沙に何言っても無駄と諦め念を押しした。

魔理沙は香りん堂を出たが、それでも何か物足りないと考えた。やはり本を『借り』に行かないと気がすまない。

魔理沙は紅魔館へ向かうことにした。

銃持ったまんま。

人間の里で一番大きな村、神室村。

いろいろな店がありここで手に入らないものはないと豪語するほど。が、光あるところに影もあり、治安はいい方ではなく犯罪も比較的多い。

でも外の世界のものがたくさんあり訪れる人は年々増えている。

紅魔館に行くため神室村を訪れた魔理沙。

「あいかかわらず人が多いな…」

道端には昼間から飲んだのか酔ったおっさんが壁にもたれかかり、嘔吐した。

「治安も悪い…」



「おい…撃つぞ！撃たれると痛いぞ！…たぶん」

魔理沙はゾンビに銃を向けるが止まろうとしない。

その上先ほどの自警団2人もゾンビとなりこちらにくる。

魔理沙は仕方なく銃を発砲した。見事頭に命中し、一体倒す。

「よ…よし！」

魔理沙は残り2人も倒す。

初めて銃を撃ち、そして人を殺した。

嫌な汗が流れる。

魔理沙は人が集まる前にその場を離れ、自宅へ戻ることにした。

第1話「勃発」(後書き)

「りん」がひらがなののは漢字が出てこないからです。

## キャラ設定1 (前書き)

現時点で確定したキャラです。

## キャラ設定1

霧雨魔理沙

専用武器：改造ショットガン（真島と同じ）

普通の魔法使い。

いつも通り紅魔館から本を『借り』に行こうとした際事件に巻き込まれる。

パワーということで改造ショットガン（八卦炉）を使用する。

レミリア・スカーレット

専用武器：二丁拳銃（秋山と同じ）

紅魔館の主。

にとりから借りたゾンビ映画を見ていたところに事件に巻き込まれる。品がないゾンビを見下しており、吸血鬼の方が上だと見せつけるためにゾンビ狩りを始める。

紅魔館といっしょに幻想入りした拳銃二丁（SCARLET）で華麗に戦う。

八意永琳

専用武器：アーチェリー

蓬莱の薬屋。

ゾンビと言えば細菌、薬を作れることで少数から疑われる。

この事件について真相を知っているような素振りをみせるが…？

博麗霊夢

今回は隔離するための結界を生成しているため戦闘には参加せず。

## キャラ設定1 (後書き)

同じように主人公を4人にしようと思いますが、最後の1人が決まらないorz

まあ…腕がガトリングは有り得ないと思いますが。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3838ba/>

---

東方 OF THE END

2012年1月14日11時53分発行